

それぞれの美術館の建築も見どころです

青森の4つの美術館を訪ね現代アートに触れる 2日間

生活クラブ
スタッフ
提案の旅
白岩 楓子企画

青森県立美術館

青森県立美術館は奈良美智や棟方志功など青森にゆかりのある芸術家の作品が展示されています。外観のデザインは建築家の青木淳氏が手掛けたもので、隣接する三内丸山遺跡よりインスピレーションを得ています。見どころとしては、高さ約8.5メートル、横幅約6.7メートルの「あおり犬」(奈良美智作)や実際にコンサートなどの公演でも使われている「アレコホール」などがあります。

八戸市美術館

八戸市美術館は、地域とアートを結びつける「出会いと学びのアートファーム」を掲げ、2021年にリニューアル開館した市立美術館です。

アートを通じた出会いが人を育み、人の成長がまちをつくる「出会いと学びのアートファーム」をコンセプトに、「ひと」が活動する空間を大きく確保し、「もの」や「こと」を生み出す新しいかたちの美術館として、様々な展覧会やプロジェクトを展開しています。コレクションは約3,000点に及び、郷土作家の作品を中心に形成されています。市民から観光客まで、幅広く親しまれる文化施設として、八戸の芸術・まちづくりの中心的役割を担っています。



撮影：阿野太一
八戸市美術館／外観イメージ

弘前れんが倉庫美術館

弘前れんが倉庫美術館は、「建築の記憶の継承と、新たな空間体験の創出」「地域の新たな可能性の開発と歴史の再生」「異なる価値観の共有と開かれた感性の育成」をコンセプトとしている美術館です。元々はりんご園に付随する建物として造られ、その後を酒造工場やシードル工場、倉庫としての利用を経て現在のように美術館として利用される形に落ち着きました。会期ごとに様々なプログラム(展示)が行われています。

十和田市現代美術館

体験型の展示が多く、最近では写真映える美術館としても有名な十和田市現代美術館。それぞれの展示にそれぞれの魅力があり、飽きることなく楽しんでいただくことができます。また、個々の展示室を「アートのための家」として作品ごとに独立させ、それをガラスの廊下でつなぐという独特な建築にすることで、アートと建築空間をより密接な関係で結んでいます。

ご宿泊

ホテル青森

青森市の中心地に位置する
ホテルにてゆっくりとおくつろぎください。



| | | | |
|-------|---------------------------------------------|----------|---------------------------|
| 旅行期間 | 2026年8月26日(水)~27日(木) | | |
| 旅行代金 | 2名様1室利用 (お一人様) ※1名様1室 追加代金10,000円(1泊) | 120,000円 | 募集人員 18名様 (最少催行人員14名様) |
| 宿泊ホテル | ホテル青森(洋室/ツイン) | | |

※上野・大宮駅乗車ご希望の場合は、必ずご予約時にご連絡ください。
ご連絡がない場合は、東京駅乗車となります。ご了承ください。



十和田市現代美術館／外観イメージ

- 東京駅(7:32) → (東北新幹線/普通車指定席) → 八戸駅(10:24) → ●八戸市美術館(2021年に新しく立替えられた、2種類の空間を基調とする美術館) → ◎地元食材を使った会席料理のご昼食 → ●十和田市現代美術館(草間彌生など世界で活躍するアーティストによる常設展示作品) → ホテル着(17:30頃) 食事:朝×・昼○・夕○
- ホテル発(8:30頃) → ●弘前れんが倉庫美術館(「記憶の継承」をコンセプトに煉瓦倉庫を改修し先進アートを展示した美術館) → ◎地元の旬の素材を使った握り寿司のご昼食 → ●青森県立美術館(奈良美智の巨大アート作品高さ約8.5m「あおり犬」などコレクション作品を展示) → 新青森駅(17:44) → (東北新幹線/普通車指定席) → 東京駅(21:04) 食事:朝○・昼○・夕×

- 添乗員/同行します ■食事/朝食1回、昼食2回、夕食1回
- 集合場所/東京駅新幹線ホーム ■交通機関/JR(東北新幹線)、大型または中型または小型貸切観光バス(青森観光バス等)
- ご案内/※天候・道路状況により観光順序を入れ替える場合がございます。 ※交通時間は、予定時間となります。ダイヤ改正などで時間に変更になる場合もございます